



★鳥羽小学校用地が決定！

「堅神地区(堅神公民館の裏山の土地)」

が鳥羽市より提案され、用地選定市民会議として、条件付で、それを承認しました。

昨年9月から重ねてきた用地選定市民会議。第7回目となった3月30日にその結論を出すことができました。

この会議は、市長が立会い、正式な「市民と行政との協働の場」として運営されました。鳥羽市は、ここで決ったことを受けて鳥羽小学校建設事業を進めていきます。



■鳥羽市からの提案

- 1.子どもたちが楽しく元気に
安心して過ごせる環境
- 2.建設の実現性が高い
- 3.将来の可能性

以上3つの要件を検討した結果、鳥羽小学校(将来的に小浜小学校及び坂手小学校との統合を考える)に望ましいとした選定地区として、**堅神地区(堅神公民館の裏山の土地)**を推薦します。

■市民会議からの提案

鳥羽市の提案を受け入れるための条件(ただし)として

- ただし、すべての子どもたちが安心して通える状況をつくります。
- そのために、スクールバス機能の実現を目指して議論をすすめていきます
- そして、地域の方、PTAの皆さんを含めて具体的に検討してゆく場を設けます。

★最終の第7回会議で、出席委員24名中19人が、上記条件(スクールバス機能の実現を強く望む)で賛成。賛成多数で、**鳥羽市からの提案(市民会議から提案した、ただし)がき付)**を受け入れるということ、本会議の公式の意志とすることが承認されました。

■これからの予定

- ・平成18年度用地取得
- ・平成19年度工事着手
- ・平成20年度完成

※結論に到るまでの経過は裏面へ

→裏面へ続く

■木田市長の思い(会議議事録より抜粋)

あらゆる段階を踏んで検討してきた結果「堅神公民館横」(以下、堅神)に建設したいという結論を導き出しました。鳥羽小学校の用地選定については長く時間がかかり市政に対する信頼が損なわれているという意見もありますが、私は“機は熟した”と思っております。この市民会議で納得をしていただき、後押しをしていただければ、あとは一日も早く完成させたいと思っております。

これまで8箇所の中から1箇所に絞ってきましたが、どの候補地も長所と短所を備えています。その中で、ベストである堅神の土地を提案させていただきました。非常に希望の強かった「日和山」等の候補地につきましては、今後文化、歴史を活かしたまちづくりをし、観光等の産業に役立てていくべきであろうと思っております。

堅神につきましては、北の端という心配がありましたが、非常に選定が難しい中で集約されてきました。完成した暁には、子どもたち、PTA、地域の方々が“よかった”といただける時期が来るのではと期待しております。今に至りましては、ここしかないと強く提案させていただきますので、ご支持とご協力をよろしくお願い致します。

**子どもたちの未来のために、
しあわせのためにを第一に**



鳥羽小学校用地 選定市民会議(平成17年度)のこれまで

2005 9/29 「オリエンテーション」 ～ふたたび同じテーブルにつこう

旧懇話会の反省を踏まえて、後戻りをしないことなどルールを確認。市民会議は、みんなの意見を反映できるワークショップ形式ですすめることになりました。

↓

10/12 第1回「候補地を知ろう」

新たに8つの候補地が提案されました。絞り込むために、それぞれの用地についてまず知ることははじまりました。

↓

10/28 第2回「候補地を大きく絞ろう」

条件にあわないところを、まずは2つ候補からはずすことが合意され、6つに絞り込まれました。

↓

★候補地の埋蔵文化財の簡易調査

③ドライブイン鳥羽の向側には日和山と一連の埋蔵文化財と見られるものが発見されました。

↓

★11/7、9 候補地視察

↓

11/22 第3回「候補地を大きく絞り込もう2」

現地視察の成果をスクリーンに写しながら振り返り。その上で、これまでの会議のなかで、委員の方々の評価及び学校建設の実現性が他の候補地と比較して低かった2カ所を候補地から外すことになりました。これで候補地は4つに。

↓

12/7 第4回「埋蔵文化財について」

候補地の中に埋蔵文化財があり、用地とするには発掘調査などの必要があるということがわかりました。特に立地的に人気の高い「日和山」は不可能なのかどうか？という問題をクリアにしようと三重県教育委員会文化財保護室長 山田 猛氏のレクチャーを受けました。「埋蔵文化財があるからと言って用地とするのは不可能ではないが、きちんと理解した上で当事者である市町村が判断すべきことである」とのことでした。

↓

2006 1/10 第5回「鳥羽小学校用地選定の“決め手”は何だろう？」

議論を重ねた結果、4候補地まで絞り込みました

が、いずれを採用するにも、例えば「日和山を鳥羽の未来のためにどう活かすべきか」など、鳥羽市全体のまちづくりの方向性に関わる判断が要求されると認識。どこかひとつに市民が決定するのは困難であるということで、市民会議としては鳥羽市から、「この価値観」を第一に考えて「この候補地」を採用したいという提案をいただき、市民会議に諮って決定することを提言、鳥羽市にゆだねることとしました。

★1/11 提言書を提出

↓

1/31 第6回「鳥羽市から提案された候補地案について検討しよう」

提言を受けて、鳥羽市からふたつの候補地が提案されました。

●望ましい教育環境と学区統合のビジョンをもとに

①ドライブイン鳥羽の向側

②堅神公民館横

それについて市民会議で検討しましたが、日和山をはずすこと、なぜこの2つなのか、市の説明内容ではすんなりと納得はできず議論白熱。結論は持ち越しに。鳥羽市は継続検討し、市民会議に説明責任を果たす、ということになりました。

↓

★坂手、鳥羽、小浜小学校での懇談会開催

坂手、鳥羽、小浜小学校の統合を前提とした鳥羽小学校建設に対する各地域の理解を得るために、各地域の方々との懇談会を実施しました。

2/22坂手小学校 2/23鳥羽小学校 3/2小浜小学校

↓

★鳥羽小学校PTA では、市の提案についてアンケートを実施

【回収率約75% (128/170世帯)】

●前回市が提案した2つの候補地のうちふさわしいものは？

・堅神公民館横……………約63% (81世帯)

・ドライブイン鳥羽の向側……………約23% (29世帯)

・どちらでもない……………約14% (18世帯)

↓

3/30 第7回「鳥羽市から提案された候補地案について検討しよう2」

懇談会の結果や、鳥羽小学校PTA のアンケート結果も参考とされ、鳥羽市から最終提案が提示されました。

※表面参照

■検討した成果はホームページで詳しく公開しています

○鳥羽市役所→鳥羽小学校用地選定のページ

<http://www.city.toba.mie.jp/kakuka/kyoui/soumu/youtisentei/mokuji.html>

■お問い合わせは 鳥羽市教育委員会へ。TEL 25-1262